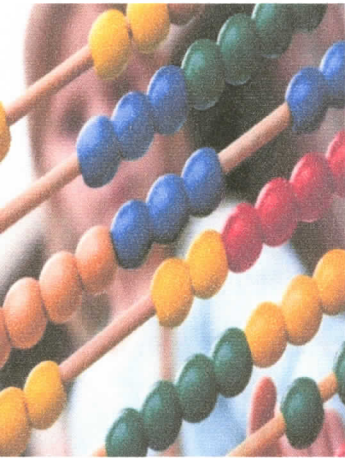


療育とは？



療育とは障がいのある子どもの発達を促し、自立して生活できるように援助する取り組みです。



いつから始めた方がいい？

療育は早ければ早いほど効果があり、また、その療育の質も大切です。

どうすれば始められる？

まずは本事業へご連絡を下さい。

ご相談内容からお子さんに必要なことを助言したり、福祉サービス情報の提供・援助や関係機関との調整などを行います。

成長していくお子さんとご家族が社会で自分らしく生活できるようにサポートします。



聖ルチア病院
イメージキャラクター
るちあちゃん



心配なことがあるときは、
専門スタッフに
相談してみませんか？



社会医療法人 聖ルチア会 聖ルチア病院 精神科・心療内科・内科

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町1012

TEL : 0942-33-1581

FAX : 0942-33-1586

ホームページ <http://www.st-lucia.or.jp>



診察時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:30 受付 ~12:00	○	○	○	○	○	○	×
14:00~17:00 受付 ~16:00	○	○	○	×	○	×	×

※時間外診療は24時間受け付けています

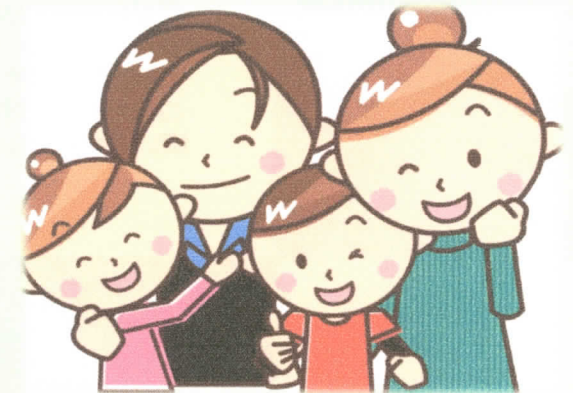
◆当事業に関する問い合わせ

聖ルチア病院 地域医療連携室

TEL : 0942-33-1581

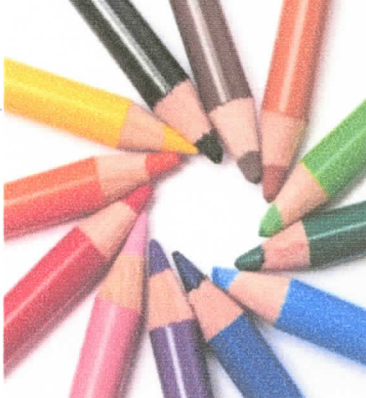
※ご連絡の際に、「療育支援事業の件」とお伝えください。

福岡県発達障がい児等療育支援事業

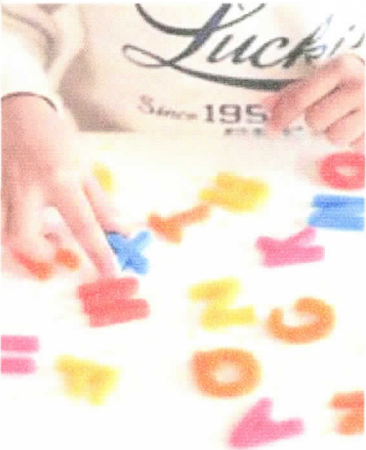


社会医療法人 聖ルチア会
聖ルチア病院
St. Lucia's Hospital

お子さんの成長で気になる
ことはありませんか？



- ・落ち着きがない
- ・友達とうまく遊べない
- ・かんしゃくをよくおこす
- ・授業についていけない
- ・友達ができない
- ・集団行動が苦手
- ・こだわりが強く、好き嫌いが異常に激しい



いわゆる気になる子どもたちの
すべてが病気や障害では
ありません。
もし、発達に障がいがある
場合は、特性を踏まえた
前向きな援助が大切です。

当事業は、主に発達障がいなどがある子どもたちのライフステージ
に応じた地域での生活を支援するため、発達障がいに関する療育
指導、相談等及び各種福祉サービス提供の援助、調整等を行い
地域の在宅発達障がい児（者）及びその家族の福祉の向上を
図る事を目的としています。

当院の療育支援チーム

- 医師 … チームの統括。療育相談・助言・支援
- 精神保健福祉士 … 福祉サービスの提供援助、各機関との調整。
- 看護師 … 健康相談・指導。
- 作業療法士 … 機能訓練相談・指導。
- 栄養士 … 栄養相談・指導。
- 臨床心理士 … 心理相談・心理検査。
- 保育士 … 幼児の発育相談・支援。
- etc..

多職種でそれぞれに合った
必要な支援を行います



ソーシャルスキル・トレーニング (SST)

人が社会でほかの人と関わりながら生きていく
ために欠かせないスキルを身につける訓練
のことを指します。
当院では、料理実習などのプログラムを
行っています。



ペアレント・トレーニング

ペアレントトレーニングは、「してほしくない
行動」や「してほしい行動」といった子ども
の行動に焦点をあて、具体的にどのような
対応ができるかを学習していくプログラムで
す。



児童・思春期親子支援プログラム(SUN-Flowerの会)

SUNの会（子供たち）がSST（ソーシャル
スキル・トレーニング）,Flowerの会（保護
者）がペアレント・トレーニングをそれぞれ学
び、親子と一緒に成長していくことを目指し
ます。

※当事業で見学・体験ができます。



当院は、福岡県から委託を受けた医療機関の一つとして
福岡県南部圏域を支援しています。

◆当事業内容

- ① 在宅支援外来療育等指導事業
当院にて 発達障がい児等に関する療育相談・助言・指導を
行います。
- ② 在宅支援訪問療育等指導事業
ご自宅などを訪問し、療育相談・助言・指導を行います。
- ③ 施設支援一般指導事業
保育所、小学校、中学校、高校や福祉施設などの職員に
療育相談・助言・指導を行います。

◆主な対象地域 福岡県南部圏域

久留米圏域（小郡市、大川市、うきは市、大刀洗町、大木町）

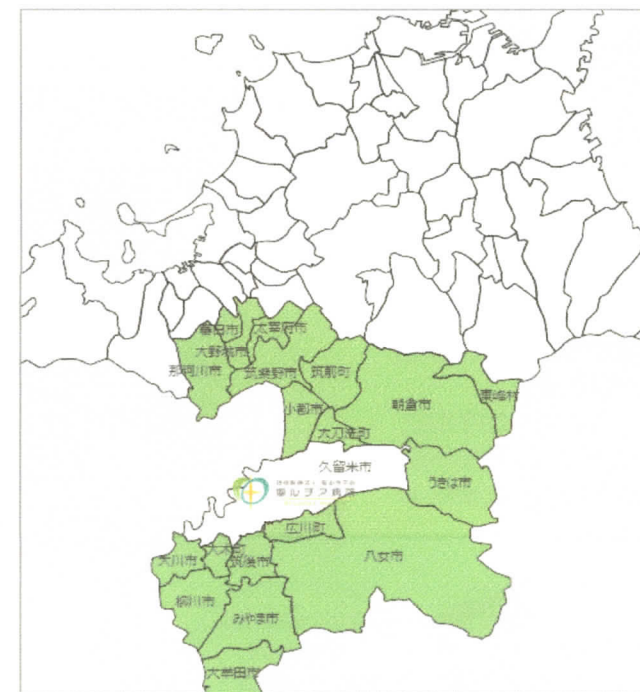
※久留米市は除く

八女・筑後圏域（八女市、筑後市、広川町）

甘木・朝倉圏域（朝倉市、筑前町、東峰村）

有明圏域（大牟田市、柳川市、みやま市）

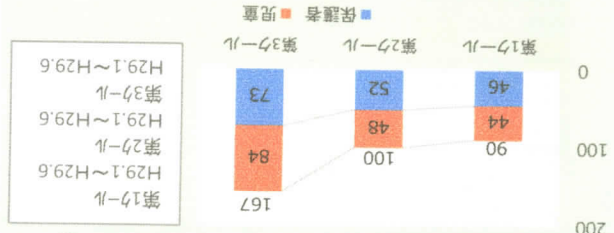
筑紫圏域（筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市）



◆当院の療育支援の実績

当院では、平成29年より児童精神科医を中心とする療育支援チームが児童思春期親子支援プログラムをスタートしました。同プログラムは、親子同時支援と継続的な支援の2点が特徴で1クール半年をかけて10回のプログラムを行います。受講される保護者の方からは「子供が毎回楽しみにしている」という声を頂いたり、修了された保護者の方へのアンケートコメントには、「会話が多くなった。」「子供が自分からお手伝いをしようになった。」などと子供の関わりが改善している事例も見られています。

児童・思春期親子支援プログラム参加の人数



◆プログラムの様子



「スキルスキル・レベルニシク」

座学で実習について準備とやり方を学習した後を実習を行います。



「レベル・スキルニシク」

当院オリジナルのテキストで子供との関わり方を学んだり、情報提供や交流を行います。

◆本事業担当及び療育支援チーム医師

坂本 奈緒 聖ルチア病院 常勤医

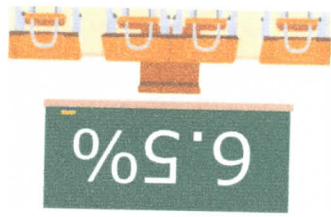
精神保健指定医 日本精神神経学会認定専門医

日本精神神経学会認定指導医 日本児童青年精神医学会認定医

子どもの心専門医

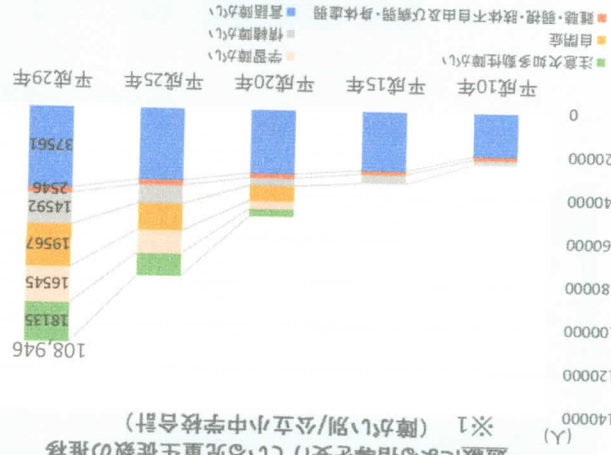


文部科学省が平成24年行った調査によると通常の学級に在籍する児童生徒の **6.5%** が40人のクラスに約2名が発達障害の可能性があり特別な教育的支援を必要とするという報告をしています。



(資料1)

※1 (障がい別/公立小中学校合計)
通級による指導を受けている児童生徒数の推移



※1: 通級とは特別支援教育における教育制度の一つで、通常の学級に籍を置きながら個別に特別支援教育を受けることが出来るものです。

文部科学省が行った調査によると、年々、通級による児童数が増加しており、障がい種別にもと、特に情緒障がい、自閉症、学習障がい、注意欠如多動性障がいは近年、急激に増加していることが報告されています。

